

各位

2024年12月19日
会社名 株式会社明豊エンタープライズ
代表者名 代表取締役会長 矢吹 満
(コード番号: 8927 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員 安田 俊治
(TEL 03-5434-7653)

2025年7月期 第1四半期 決算補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2024年12月12日に発表いたしました2025年7月期 第1四半期決算について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1 前年同期と比較して売上高が34.9%増、営業利益が47.9%増、経常利益58.7%増及び当期純利益が41.9%増と大きく伸びていますがどのような理由ですか。

A 主力シリーズ「エルファール」「ミハス」10棟（前年同四半期は5棟）の引き渡しによるものが主な要因となります。

Q2 海外展開の見通しはどのような状況ですか。どの地域に注力していますか。

A 香港、中国本土、シンガポールとアジア圏を中心に順次販売チャンネルを拡大しております。本年11月には新たにタイでの販売網の開拓および不動産物件の視察等、進出に向け現地調査を実施しました。また、2025年2月には台湾の現地法人にて営業開始を予定しており、引き続き海外投資家の方への販売活動を積極的に展開いたします。

Q3 海外顧客への販売状況について教えてください。

A 当第1四半期では1棟（前年同四半期は販売なし）を販売いたしました。今期は10棟（前期は9棟）を販売目標としております。

Q4 請負事業セグメントが赤字ですがどのような理由ですか。

A 請負セグメントの主たる売上は、グループ会社の協栄組・明豊エンジニアリングが担っており、エルファール・ミハスシリーズの50%ほどの工事を請負っております。当期は受注数も順調に増加し、利益体質へ転換していく計画でございます。

Q5 資材の高騰等により建築費は上昇トレンドのようですが、販売価格に価格転嫁はできていますか。

A 当社は、ある程度資材の高騰や労務費・金利の上昇予測値を織り込んだうえで、販売価格等に反映し利益計画を策定しております。また、グループ内の施工会社で蓄積された知見を活用し、コスト削減に努めております。

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

Q6 現在の経済環境（為替、金利）を踏まえた、業績予想に対するリスク要因はありますか？

A 現在の為替・金利変動に対するリスクについて予測が難しいものの、現時点で可能な範囲での業績予想に織り込んでおります。

Q7 今期の配当方針について教えてください。また、株主還元策として、配当以外に考えている施策はありますか？

A 当社は継続的な成長に必要な内部留保の充実を考慮したうえで、安定した配当を継続することを基本方針としており、今期の配当予想は1株あたり11円(中間配当5.5円、期末配当5.5円)でございます。また、株主還元策として、配当金による還元を基本としておりますが、その他の株主還元方法については引き続き検討を行っております。

Q8 サステナビリティに関する取り組みについて教えてください。

A 2024年9月25日付で明豊エンタープライズグループとして「SDGs（持続可能な開発目標）宣言書」を策定いたしました。当社グループは、SDGs 達成のため「社員の人生を豊かにする職場環境づくり」「物造りにこだわった、住まいの開発」「パートナーシップの構築と社会・環境課題の解決」の3つをテーマに取り組んでまいります。

以上

お知らせ

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を設けることを目的とし、IRサイト内に「Quick Answer」コンテンツを設置しています。多くの株主・投資家の皆さまからいただいたご質問や、当社からお届けしたい情報を公開しています。

クイックアンサー

Quick Answer



URL : <https://meiho-est.com/ir/ir-qa/>

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。